xiaomi ロボット掃除機 5 取扱説明書 • 01
Xiaomi Robot Vacuum 5 User Manual • 29

安全情報

ご使用前にこの説明書をよくお読みください。また、いつでも参照できるよう保管してください。

使用上の注意

- 本製品は、家庭環境での床の清掃にのみ使用できます。屋外、床以外の場所、商業施設または工業施設では使用しないでください。
- 本機器は、使用に伴う危険性を理解した上で、安全な使用方法について監督または指導できる方のもとであれば、8 歳以上のお子様や、身体・感覚または精神的な障害がある方、及び本機器の使用経験や知識がない方にもご利用いただけます。お子様を本製品で遊ばせないようにしてください。お子様による清掃またはメンテナンス作業は、必ず誰かの監督のもとで行うようにしてください。
- 本製品は、身体的、感覚的、または精神的機能が低下している方お子様を含む、または経験や知識が不足している方（ただし、本製品の使用に関して安全に責任を持てる方による監督や指示を受けている場合を除く）による使用を目的としたものではありません。
- 子供が本製品で遊ばないようにご注意ください。
- コードセットが損傷した場合は、製造元またはサービス代理店から入手できる専用コードセットに交換してください。
- 本製品の電池は、専門の技術者のみ交換可能です。
- ロボット掃除機の動作中は、お子様やペットがロボット掃除機から離れた安全な場所にいることを確認してください。
- ロボット掃除機は、防護壁がない地上から浮いた場所で使用しないでください。
- ロボット掃除機を逆さまに置かないでください。LDS レーザーセンサーカバーやバンパーを持ってロボット掃除機を動かさないでください。
- 屋外や浴室、プールの周辺では、ロボット掃除機を設置、充電、使用しないでください。
- 本機がコードセットの上を通ると危険が生じる場合がありますのでご注意ください。
- ロボット掃除機がぶつかって損傷するのを防ぐために、壊れやすいものや小さなものを床から取り除いてください。
- ロボット掃除機が静止中か移動しているかにかかわらず、ロボット掃除機の上に子供、ペットやいかなる物も乗せたり置いたりしないでください。

- 髪の毛、指、その他の身体の部分をロボット掃除機の吸引口から遠ざけてください。
- ロボット掃除機を使用して燃焼物を掃除しないでください。
- 硬いものや尖ったものをロボット掃除機で吸引しないでください。
- 本機を掃除やメンテナンスを行う前に、電源コンセントからプラグを抜いてください。
- ロボット掃除機や Omni ステーションを濡れた布で拭いたり、何らかの液体で洗ったりしないでください。洗浄可能な部品をクリーニングした後は、再び取り付けて使用する前に部品を完全に乾かしてください。
- 輸送中は、必ずロボット掃除機の電源を切り、できれば、元の梱包箱に入れておいてください。
- 本製品は、取扱説明書の使用方法に従って使用してください。本製品の不適切な使用に起因する損失または損害については、お客様の責任となります。
- 周囲温度が 40°C 以上または 0°C 未満の場合、または液体や粘着性物質が付着した床では、本ロボット掃除機を使用しないでください。
- 「正常にネットワーク接続されました」という音声メッセージが聞こえたら、デバイスが正常にネットワーク接続され、Wi-Fi SSID とパスワードがデバイスに保存されたことを示します。この情報はネットワーク関連のサービスに使用されます。個人データの処理についてはプライバシーポリシーを参照してください。

バッテリーおよび充電の警告

注意：熱断路器の誤ったリセットによる危険を防止するため、このデバイスはタイマーなどの外部スイッチング装置を介して電源を供給したり、電力会社によって定期的にオン / オフされる回路に接続したりしないでください。

- ロボット掃除機は、 OV31-JZUS の Ommi ステーションでのみ使用できます。付属の電源コードセットは Omni ステーション専用です。Omni ステーション以外には使用できません。
- 充電式でないバッテリーは使用しないでください。
- 電源周波数の 50 Hz と 60 Hz の切り替えにお客様による操作は不要です。本製品は 50 Hz と 60 Hz の両方に自動的に適応します。
- バッテリーや Omni ステーションは自分で分解、修理、改造しないでください。
- 本体や Ommi ステーションを熱源の近くに置かないでください。

- 湿った布や濡れた手で Omni ステーションの充電端子を拭いたりクリーニングしたりしないでください。
- 製品やバッテリーを過度の温度にさらさないでください。
- バッテリー式機器やバッテリーの端子が金属物でショートする危険に注意してください。
- ロボット掃除機を長期間使用しない場合は、フル充電してから電源を切り、涼しく乾燥した場所に保管してください。バッテリーの過放電を避けるために、少なくとも 3 ケ月に 1 回はロボット掃除機を充電してください。
- ショートしたり、液が漏れたりしないように、バッテリーを取り外すときにバッテリーが損傷しないようにしてください。バッテリーが液漏れする場合は、液が皮膚や衣服に付かないようにして、すぐに乾いた布で拭き取ってください。
- 本製品に使用しているリチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。不要になったリチウムイオン電池は、家庭ごみとして廃棄しないで、排出協力店へお持ちください。その場合、ショートの危険がありますので、端子部をテープ等で絶縁してください。排出協力店の詳細は、一般社団法人ＪＢＲＣのホームページをご参照ください。
  https://www.jbrc.com/
- 本製品からバッテリーを取り外すときは、バッテリーを使い切って、本製品が電源から切り離されていることを確認することをおすすめします。
  1. 底面のネジを外し、カバーを取り外します。
  2. バッテリーのコネクタを外し、バッテリーを取り外します。怪我の危険を避けるため、バッテリーケースを傷つけないようにしてください。

屋内でのみ使用してください。　　ご使用前に、使用方法をお読みください。

レーザーに関する安全情報

本製品のレーザーセンサーは、クラス 1 レーザー製品に関する IEC 60825-1: 2014 および EN 60825-1:2014/A11:2021 規格を満たしています。使用中にレーザー放射が直接目に入らないようにしてください。

クラス 1 レーザー製品

消費者向けレーザー製品

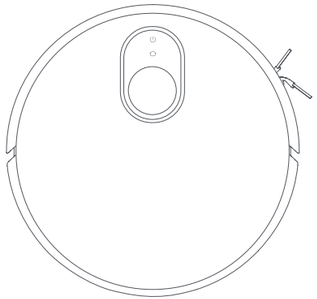
EN 50689:2021

EU 適合性宣言

CE

Xiaomi Communications Co., Ltd. は、ラジオ装置タイプ OV31GL が指令 2014/53/EU に適合していることを宣言します。EU 適合性宣言の全文は、次の URL からご覧いただけます。
https://www.mi.com/global/support/terms/declaration
電子マニュアルの詳細については、www.mi.com/global/support/user-guide をご覧ください。

本製品には、エネルギー効率要件または電源管理機能において、スタンバイモードまたは同等のステータスがないため、本製品の消費電力は、これらの機能要件を満たす他の製品よりも高くなる可能性があります。



ロボット掃除機

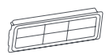
注意：説明書記載の製品、付属品、ユーザーインタフェースなどの画像はイメージです。製品のアップデートにより、実際の製品とイメージが多少異なる場合があります。その場合実物に準じます。

付属品一覧

事前に取り付け済みの付属品



ダストカップ



フィルター
（ダストカップに事前に取り付け済み）



サイドブラシ

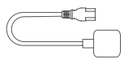


絡まり防止毛髪カットブラシ

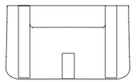


ブラシカバー

その他の付属品



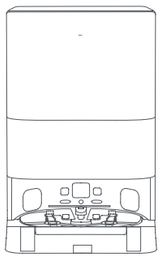
コードセット



洗濯板スタンドエクステンダー



モップパッドホルダー × 2
（モップパッド x 2 を事前に取り付け済み）



Omni ステーション
（使い捨てパック、清浄水タンク、汚水タンク、洗濯板を事前に取り付け済み）



取扱説明書



イメージガイド

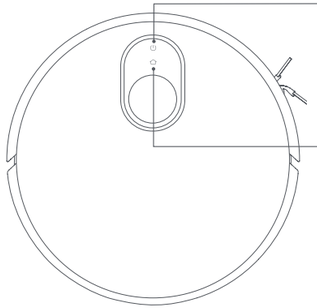


クイックスタートガイド



保証に関するお知らせ

ロボット掃除機

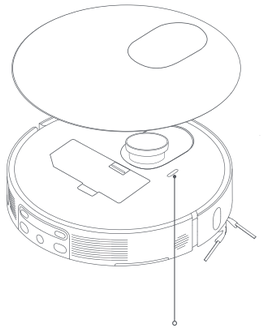


開始／清掃

- 3 秒間長押しするとオンまたはオフになります
- 電源がオンになっているときに押すと、掃除を開始または一時停止します

スタンド

- 動作中に押すと一時停止します
- 一時停止中に押すと、充電のためにロボット掃除機を Omni ステーションに戻します
- Omni ステーションに戻っている途中で押すと、ドッキングを停止します
- 3 秒間長押しすると、チャイルドロックを有効または無効にします



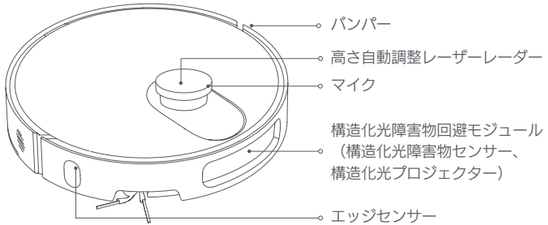
+ 表示ランプ

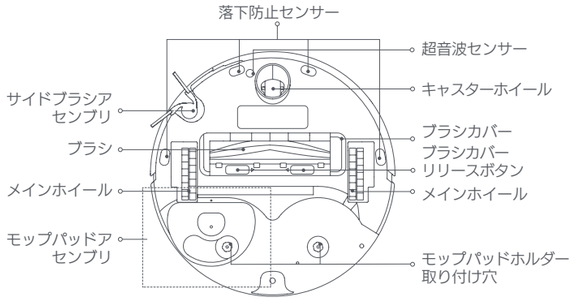
- 白色：清掃中／清掃完了／フル充電
- 白色に点滅：充電に戻り中／位置変更中
- ゆっくり白色に点滅：充電中（バッテリー残量が中程度～多い）
- ゆっくりオレンジ色に点滅：充電中（バッテリー残量が少ない）
- オレンジ色に点滅：Wi-Fi が切断／故障／ネットワーク接続待機中／ネットワーク接続中／ファームウェア更新中

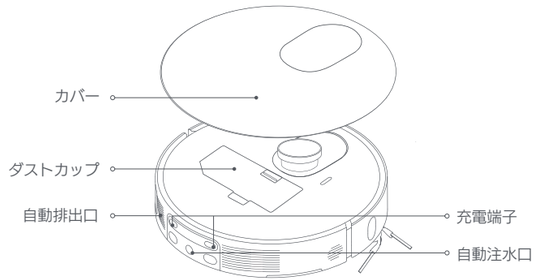
リセットボタン／ Wi-Fi 表示ランプ

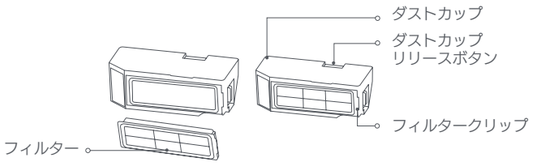
- 道具を使って 3 秒間長押しすると、工場出荷時の設定に戻ります
- 道具を使って 10 秒間長押しすると、ロボット掃除機の電源が強制的にオフになり、工場出荷時の設定に戻ります
- 青色：Wi-Fi 接続済み
- オレンジ色に点滅：ネットワーク接続待機中／ Wi-Fi が切断
- 青色の点滅：ネットワーク接続中

ロボット掃除機およびセンサー



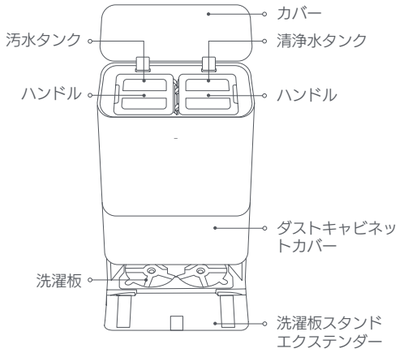


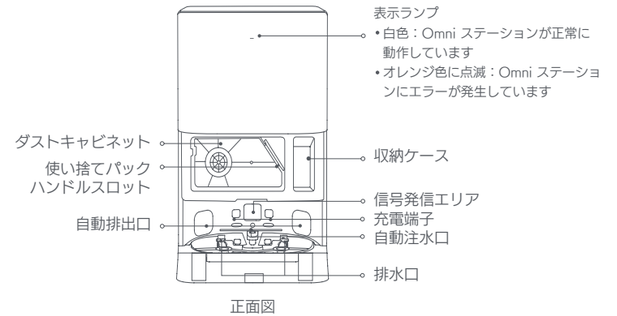




注意：
· 高さ自動調整レーザーレーダーは、ロボット掃除機がスタンバイモードの場合や、充電中、または低いエリアの清掃中は低くなります。
· 低いエリアの清掃中は、位置決めに影響しないように、ロボット掃除機を動かさないでください。

Omni ステーション

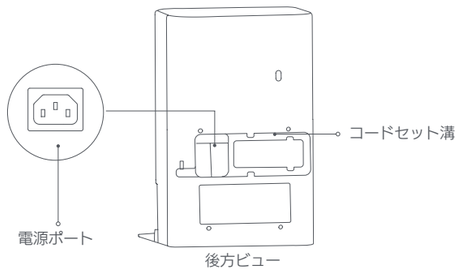




正面図



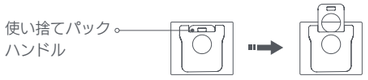
汚水タンク　清浄水タンク



後方ビュー

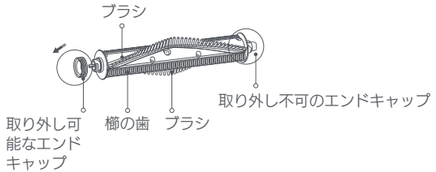
製品紹介

使い捨てパック

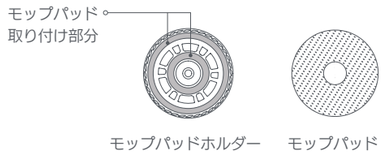


注意：Omni ステーションには、工場出荷時に新品の使い捨てパックが事前に取り付けられています。交換の際は正規のルートで専用の使い捨てパックを購入することをお勧めします。

絡まり防止毛髪カットブラシ



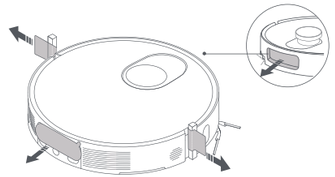
モップパッドアセンブリ



取り付け方法

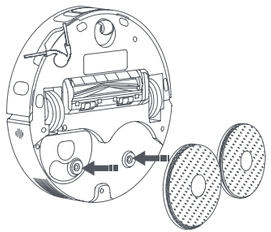
保護カバーの取り外し

ロボット掃除機を使用する前に、保護カバーを取り外してください。



モップパッドアセンブリの取り付け

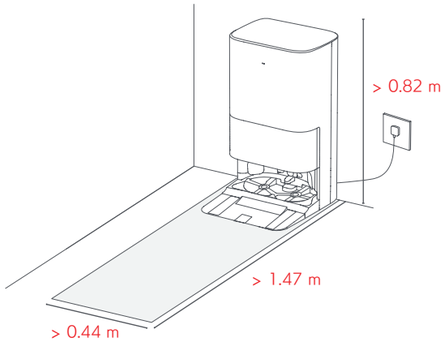
モップパッドアセンブリをモップパッドホルダー取り付け穴に取り付けます。
「カチッ」と音がしたら正しく取り付けられています。



取り付け方法

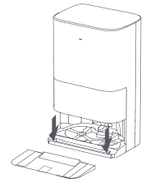
Omni ステーションの配置

- 木製床やタイル張りの床など、壁際の平坦で表面が硬い床に Omni ステーションを置きます。
- 高さ 0.82 m 以上、長さ 1.47 m 以上、幅 0.44 m 以上のスペースをあけておきます。



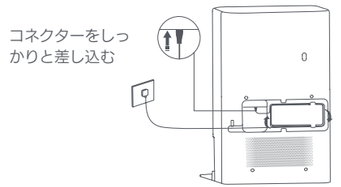
洗濯板スタンドエクステンダーの取り付け

- 図示された方向に沿って、Omni ステーションに洗濯板スタンドエクステンダーを取り付けてください。
- 洗濯板スタンドエクステンダーが Omni ステーションの底面と平行で、底面が平らになるようにしてください。



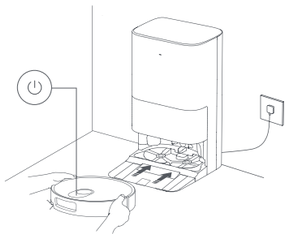
電源への接続

- 適切な場所に Omni ステーションを配置し、コードセットを接続して、電源コンセントにコードセットを差し込みます。
注意：表示ランプが白色になるまで、Omni ステーションの電源ポートにコードセットをしっかりと挿入します。



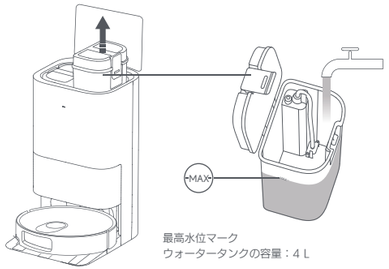
ロボット掃除機の充電

- 使用する前に、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを 3 秒間長押しして、電源をオンにします。
- ロボット掃除機の電源をオンにした後、充電端子が Omni ステーションの端子と合うようにして、Omni ステーションの上に置いてください。
- 「充電を開始します」の音声ガイダンスが聞こえれば、ロボット掃除機は Omni ステーションに正常に接続されています。



注意：
- 初めて使用する前に、ロボット掃除機のフル充電をおすすめします。
- バッテリー残量がなくなってロボット掃除機の電源を入れることができない場合、ロボット掃除機を手で Omni ステーションに置いて、しばらく充電してください。
- ロボット掃除機が充電されると自動的に電源が入り、電源を切ることはできません。

清浄水タンクへの水の追加



最高水位マーク
ウォータータンクの容量：4 L

注意：
- 水を追加する際は、最高水位マーク（MAX）を超えないようにしてください。
- タンクが変形する恐れがあるため、ウォータータンクにお湯は入れないようにしてください。

Xiaomi Home アプリに接続します

この製品は Xiaomi Home アプリで動作します。Xiaomi Home アプリを使用すると、デバイスを制御し、他のスマートホームデバイスと連携できます。
QR コードをスキャンし、アプリをダウンロードしてインストールします。
既にアプリをインストールしているユーザーはデバイス接続ページに直接進みます。又は、アプリストアで「Xiaomi Home」を検索し、アプリをダウンロード及びインストールします。
Xiaomi Home アプリを開き、右上の ⊕ をタップして、表示される指示に従ってデバイスを追加します。

2663139D

注意：
- ロボット掃除機は Xiaomi Home アプリで動作し、Android 9.0 または iOS 12.0 およびそれ以上のバージョンに対応しています。
- ロボット掃除機は 2.4 GHz Wi-Fi ネットワークのみに対応しています。
- アプリのバージョンがアップデートされている場合は、最新版のアプリで表示されている指示に従ってください。
- ロボット掃除機が Xiaomi Home アプリに正常に接続されると、ネットワークに正常に接続されます。ネットワークから切断するには、Wi-Fi をリセットしてください。

Wi-Fi のリセット

ロボット掃除機がネットワークから切断された場合や、ネットワークを変更する必要がある場合は、Wi-Fi をリセットしてください。
1. Wi-Fi 表示ランプが見えるように、ロボット掃除機のカバーを開けます。
2. ⏻ ボタンと ⌂ ボタンを 7 秒間長押しし、ネットワーク接続待機中のボイスメッセージが聞こえるまで押し続けます。Wi-Fi 表示ランプが点滅したら、ロボット掃除機が正常にリセットされたことを示します。
3. アプリでネットワークに再接続します。Wi-Fi 表示ランプが青色に点灯したら、ロボット掃除機がネットワークに正常に接続されたことを示します。

電源オン／オフ

- ⏻ ボタンを 3 秒間長押しして、ロボット掃除機の電源をオンにします。ロボット掃除機の表示ランプが点灯したら、ロボット掃除機はスタンバイモードになっています。
- ロボット掃除機が一時停止して、充電中でないときに、⏻ ボタンを 3 秒間長押しして、ロボット掃除機の電源をオフにします。

注意：ロボット掃除機が充電されると自動的に電源が入り、電源を切ることはできません。

クイックマップ作成

- 初回のネットワーク接続後に、アプリの指示に従ってクイックマップ作成を有効にすると、ロボット掃除機は清掃をせずにマップ作成を開始します。
- ロボット掃除機が Omni ステーションに戻ると、マップ作成処理は完了し、マップが自動的に保存されます。

注意：
- ロボット掃除機が完全に充電されており、Omni ステーションから起動していることを確認します。
- マップを作成する前に、床にあるものを取り除き、部屋のドアを開け、ロボット掃除機に適さない場所を塞ぎます。
- マップを作成する際は、ロボット掃除機を追いかけたり、動かしたり、中断させたり、Omni ステーションを移動したりしないでください。
- マップ作成後は、ロボット掃除機に適さない場所、たとえば動けなくなる可能性がある場所や擦り傷がつく可能性がある場所などに、仮想の壁や制限エリアを設定してください。
- 長い毛やフリンジがあるカーペットが敷かれているエリアには、ロボット掃除機が絡まるのを防ぐために仮想の壁や制限エリアを設定してください。
- カーペットが濡れないように、モップがけをする前に、仮想の壁または制限エリアを設定してカーペット敷きのエリアを除外します。

一時停止

ロボット掃除機の動作中にいずれかのボタンを押すと一時停止します。

注意：一時停止中は、ロボット掃除機を持ち上げたり、動かしたりしないでください。ナビゲーションエラーが発生し、ロボット掃除機が Omni ステーションに戻れなくなったり、マップが失われたりする可能性があります。

スリープモード

- ロボット掃除機は 10 分間一時停止すると、自動的にスリープモードに入ります。
- スリープモード中は、ロボット掃除機の表示ランプが消灯します。起動させるには、ロボット掃除機のいずれかのボタンを押します。

注意：ロボット掃除機は、12 時間以上スリープモード状態にあると、自動的に電源がオフになります。

清掃の再開

掃除作業中にロボット掃除機のバッテリー残量が低下すると、ロボット掃除機は自動的に Omni ステーションに戻って充電します。ロボット掃除機が十分に充電されると、やり残したところから清掃作業を再開します。

注意：ロボット掃除機が DND モードになっている場合や手動で充電した後は、清掃が再開されません。

チャイルドロック設定

チャイルドロックを有効または無効にするには、ロボット掃除機の ⌂ ボタンを 3 秒間長押しします。

注意：チャイルドロック機能が有効になると、ロボット掃除機のボタンは作動しなくなります。その場合、ロボット掃除機はアプリから操作できます。

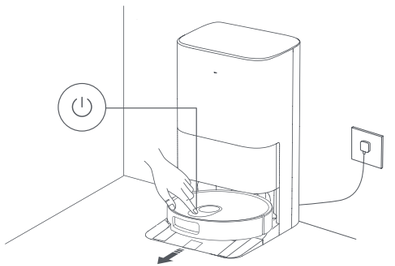
ダスト排出

ロボット掃除機が掃除機がけとモップがけ作業、モップがけの前に掃除機がけ、または掃除機がけ作業を完了して、充電のために自動的に Omni ステーションに戻ると、Omni ステーションは自動的にダストの排出を開始します。

注意：
- ロボット掃除機が途中でモップパッドをクリーニングするために Omni ステーションに戻ると、Omni ステーションはダストを自動排出しません。
- アプリで自動排出機能が無効になっている場合、Omni ステーションはダストを自動排出しません。
- アプリで自動排出の頻度を変更すると、Omni ステーションは設定された頻度でダストを排出します。

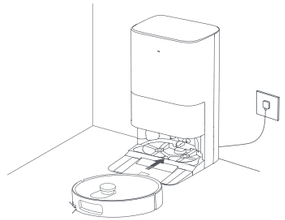
掃除機がけとモップがけ

1. 清掃を開始
- モップパッドアセンブリとその他の必要な部品がロボット掃除機に取り付けられていること、および清浄水タンクが水で満たされていることを確認してください。
- アプリで掃除機がけとモップがけモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して、清掃を開始します。
- 次にロボット掃除機は、Omni ステーションから起動して、最適な掃除経路を計画し、作成したマップに基づいて清掃作業を実行します。

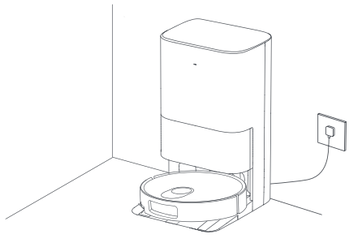


注意：
- ロボット掃除機を初めて使用するときは、工程全体を通して、ロボット掃除機について行き、ロボット掃除機の作業に影響する可能性があるものを取り除くことをおすすめします。
- 一部のエリアでロボット掃除機が引っかかったり、家具の表面に傷をつけたりする可能性がある場合は、アプリで制限エリアを設定して、ロボット掃除機がそのエリアに入らないようにすることができます。
- ロボット掃除機は作業開始前にモップパッドを湿らせます。しばらくお待ちください。
- ロボット掃除機を使用する前に、Omni ステーションが電源に接続されており、ロボット掃除機が Omni ステーションに接続されていることを確認します。
- ロボット掃除機が掃除機がけとモップがけを完了した後に確実に Omni ステーションに戻ることができるように、ロボット掃除機を Omni ステーションから始動させることをお勧めします。掃除中に Omni ステーション、清浄水タンク、汚水タンク、洗濯板を動かさないでください。
- 温水でモップパッドをクリーニングする機能はアプリで有効にすることができます。有効にした場合は、やけどを防ぐために洗濯板スタンドの排水口に触れないでください。

2. モップパッドをクリーニングするために途中で自動的に戻る
   清掃中、ロボット掃除機は一定の面積の清掃が完了した後に Omni ステーションに自動的に戻り、モップパッドを洗浄して、ウォータータンクに水を入れることがあります。
   モップパッドのクリーニングが終わると、ロボット掃除機は清掃を再開します。



3. 自動ダスト排出、モップパッドクリーニングと空気乾燥
   ロボット掃除機が清掃作業を完了して、充電のために Omni ステーションに戻ると、Omni ステーションは自動的にダスト排出を開始し、モップパッドをクリーニングして、空気乾燥させます。



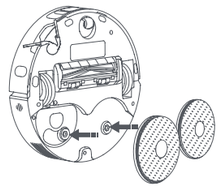
4. 汚水タンクを清掃してください
   モップパッドをクリーニングして、空気乾燥させたら、臭いを防ぐために早めに汚水タンクを清掃してください。

モップがけの前に掃除機がけ

- ロボット掃除機の部品（モップパッドアセンブリなど）清浄水タンクに水が入っていることを確認してください。
- アプリで「モップがけの前に掃除機がけ」モードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して清掃を開始します。ロボット掃除機がモップパッドアセンブリを持ち上げて、掃除機がけを開始します。
- 掃除機がけが終わると、ロボット掃除機は Omni ステーションに戻り、ダストを自動排出してモップパッドを湿らせ、モップパッドアセンブリを下げてモップがけを開始します。

掃除機がけのみ

- アプリで掃除機がけのみモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して、清掃を開始します。
- ロボット掃除機がモップパッドアセンブリを持ち上げ、Omni ステーションを離れて掃除機がけを開始します。掃除機がけ作業が終わると、Omni ステーションに戻り、ダストを自動排出します。



注意：モップパッドアセンブリが取り外されている場合、ロボット掃除機は起動時に掃除機がけのみを自動的に実行します。

モップがけのみ

- ロボット掃除機のモップパッドアセンブリなどの部品が取り付けられていること、および清浄水タンクに水が入っていることを確認してください。
- アプリでモップがけのみモードを選択し、アプリを使用するか、ロボット掃除機の ⏻ ボタンを押して清掃を開始します。ロボット掃除機が Omni ステーションを離れる前に自動的にモップパッドを湿らせて、モップがけを開始します。
- モップがけが終わると、ロボット掃除機は Omni ステーションに戻り、モップパッドを洗浄して空気乾燥させます。

アプリのその他の機能

マップ設定
アプリのホームページには、掃除機がけとモップがけに使用されている現在のマップが表示されます。制限エリアの設定で回避するエリアを設定し、マップ管理で現在のマップを編集できます。

掃除設定
床の汚れの度合いや特定のニーズに基づいて、清掃モード、吸引レベル、水流速度を調整できます。

Omni ステーション設定
- 自動排出設定：自動排出機能を有効または無効にしたり、自動排出頻度を変更したりすることができます。
- モップパッド掃除設定：ロボット掃除機がモップパッドクリーニングのためにステーションに戻る頻度を調整できます。

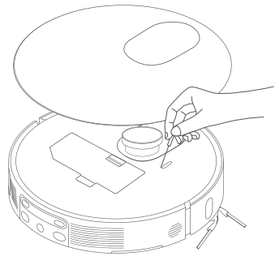
注意：
- 清掃するゾーンを選択したり、ゾーン別クリーニングを実行したり、マップを編集したりする前に、まずマップを作成する必要があります。
- その他の機能については、アプリを参照してください。各機能の詳細はアプリによって異なります。

ファームウェア更新

アプリでファームウェアを更新できます。更新前に、ロボット掃除機が Omni ステーションにあり、バッテリー残量が 30% 以上であることを確認してください。

工場出荷時の設定に戻す

ロボット掃除機が故障して正常に使用できない場合は、道具を使ってリセットボタンを 3 秒間長押しし、工場出荷時の設定に戻す処理を開始しますというボイスメッセージが聞こえるまで押し続けます。その後、ロボット掃除機が工場出荷時の設定に戻ります。工場出荷時の設定に戻せない場合は、リセットボタンを 10 秒間長押しすると、ロボット掃除機の電源が強制的にオフになり、工場出荷時の設定に戻ります。



部品のメンテナンス

ロボット掃除機を良好な状態に保つために、次の表を参照して定期メンテナンスを行うことをお勧めします。

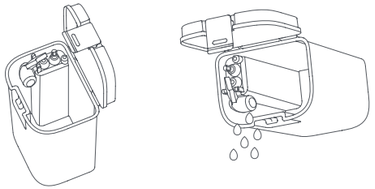
部品	クリーニング頻度	交換頻度
汚水タンク	毎回の使用後にクリーニング	/
清浄水タンク	2 週間に 1 回クリーニング	
洗濯板	1–2 週間に 1 回クリーニング	
絡まり防止毛髪カットブラシ	2 週間に 1 回クリーニング	3–6 か月ごと
サイドブラシ	2 週間に 1 回クリーニング	3–6 か月ごと
ダストカップ	必要に応じてクリーニング	/
フィルター（ダストカップに事前に取り付け済み）	2 週間に 1 回クリーニング	6–12 か月ごと
モップパッド	/	6–12 か月ごと
キャスターホイール	月に 1 回クリーニング	/
高さ自動調整レーザーレーダー		
エッジセンサー		
構造化光障害物回避モジュール		
落下防止センサー		

部品	クリーニング頻度	交換頻度
ロボット掃除機の充電端子	実際の使用状況による	/
バンパー		
ロボット掃除機の自動排出口		
ロボット掃除機の自動給水口		
ロボット掃除機の底面		
Omni ステーション		
Omni ステーションの自動排出口		
Omni ステーションの充電端子		
Omni ステーションの信号発信エリア		
使い捨てパック	/	実際の使用状況に応じて約 2.5 か月ごとに交換

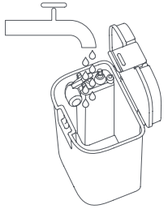
注意：
- 交換頻度はあくまでも目安です。部品が破損した場合は、効率的な清掃を行えるようにすぐに交換してください。
- ロボット掃除機を移動または配送する場合、清浄水タンクと汚水タンクを空にして、輸送中にロボット掃除機が破損しないようにしてください。

清浄水タンクと汚水タンクのクリーニング

1.清浄水タンクと汚水タンクを両方とも取り外し、蓋を開けて水を排出します。



2.きれいな水を使ってタンクを完全に洗い、タンクの外側を乾いた布で拭いてから、もう一度 Omni ステーションに差し込みます。

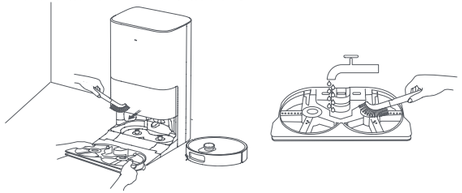




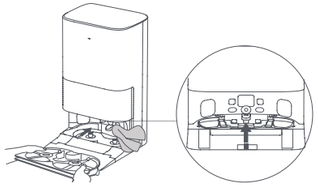
注意：清浄水タンクと汚水タンクのフロートボールは可動部品です。破損を防ぐため、ウォータータンクを清掃する際は力を入れすぎないでください。

洗濯板と洗濯板スタンドのクリーニング

1.アプリで Omni ステーションの補助洗浄機能を有効にすると、ロボット掃除機が自動的に Omni ステーションを離れます。洗濯板を手で取り外すと、Omni ステーションが自動的に洗濯板スタンドに水を噴射します。布またはブラシを使用して、洗濯板スタンドと洗濯板を洗浄します。



2.3 分間待つと、Omni ステーションから汚水が自動的に排出されます。乾いた布で洗濯板スタンドと洗濯板を拭き、洗濯板を Omni ステーションに再び取り付けます。Omni ステーションの汚水ホースがたわまないように、図のように洗濯板の溝に入っていることを確認してください。正しく配置されていないと、正常に使えなくなることがあります。

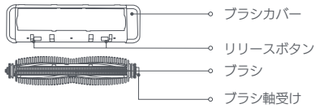


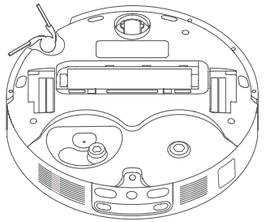
注意：日常的な使用中やクリーニング中に Omni ステーションを傾けないでください。洗濯板スタンドに水が溜まったら、布で拭いて乾かします。

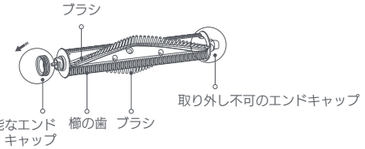
絡まり防止毛髪カットブラシのクリーニング

1.ブラシカバーとブラシを取り外します。
2.ブラシの取り外し可能なエンドキャップを取り外します。
3.適切な道具を使用して、ブラシの両端と櫛の歯の隙間を清掃します。
4.取り外し可能なエンドキャップを元に戻し、ブラシとブラシカバーを再度取り付けます。しっかりと固定されていることを確認してください。

注意：ブラシに絡まる髪の毛が多すぎたり、髪が強く絡み合っている場合は、無理に引っ張るとブラシが傷つく恐れがありますのでご注意ください。



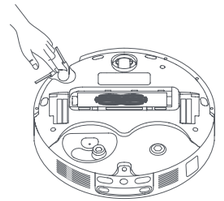




注意：
絡まり防止毛髪カットブラシに髪の毛がひどく絡まっている場合は、ダストカップと使い捨てパックがいっぱいになっていないか確認してください。いっぱいになっている場合は、ダストカップを空にして使い捨てパックを適時交換し、自動排出機能が正常に機能するようにしてください。

サイドブラシのクリーニング

1.ロボット掃除機を逆さまにして、サイドブラシを引き上げ、クリーニングします。
2.サイドブラシをロボット掃除機に再び取り付けます。

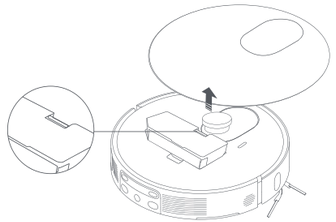




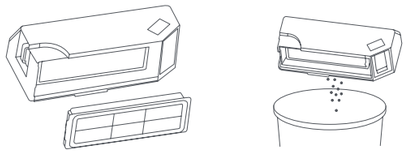
サイドブラシを再び取り付ける際は、サイドブラシとスロットの位置を合わせます。

ダストカップとフィルターのクリーニング

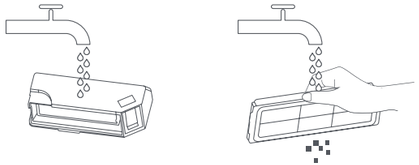
1.ロボット掃除機のカバーを開け、ダストカップリリースボタンを押して、ロボット掃除機からダストカップを上方向に引き抜きます。



2.フィルタークリップからフィルターを取り外し、フィルターフレームを軽くたたいて汚れを取り除き、ダストカップのごみを捨てて空にします。

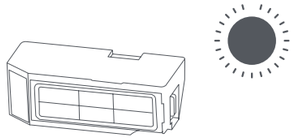


3.必要に応じて、ダストカップとフィルターをきれいな水ですすぎます。



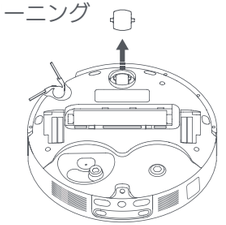
注意：
- ブラシや指を使わずにフィルターをクリーニングしてください。
- 頻繁な水洗いは推奨されません。フィルターが損傷する可能性があります。
- ダストカップやフィルターは、きれいな水のみを使用して洗浄してください。洗剤は使わないでください。

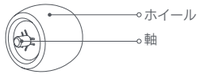
4.ダストカップとフィルターは、完全に乾かしてから再び取り付けてください。



キャスターホイールのクリーニング

1.ロボット掃除機を裏返し、キャスターホイールを引き出します。
2.髪の毛、汚れ、その他のごみをホイールと軸から取り除きます。
3.キャスターホイールをもう一度挿入し、所定の位置にしっかりと押し込みます。

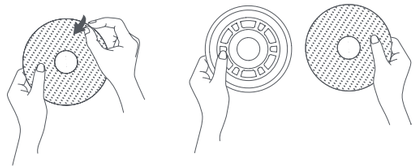




注意：
- 必要に応じて、小型のドライバーなどの工具を使用してキャスターホイールの軸をそっと開けて、クリーニングすることができます。
- ホイールは水道水で洗浄して、空気乾燥した後に再度挿入することができます。

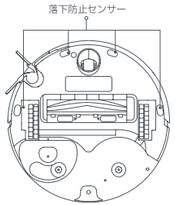
モップパッドの交換

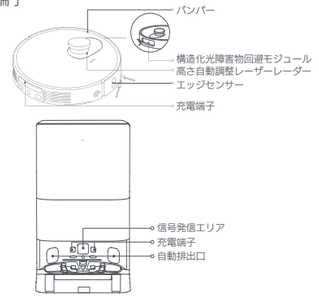
モップパッドホルダーからモップパッドを取り外し、新しいものと交換します。



センサーと充電端子のクリーニング

柔らかい乾いた布を使って、ロボット掃除機の以下のすべてのセンサーと充電端子をクリーニングします。
- ロボット掃除機の底面の落下防止センサー
- ロボット掃除機の上部にある高さ自動調整レーザーレーダー
- ロボット掃除機の前面にあるバンパーと構造化光障害物回避モジュール
- ロボット掃除機の両側面にあるエッジセンサー
- ロボット掃除機の背面にある充電端子





Omni ステーションのクリーニング

Omni ステーションの信号発信エリア、充電端子、自動排出口を柔らかい乾いた布で清掃します。

バッテリーのメンテナンス

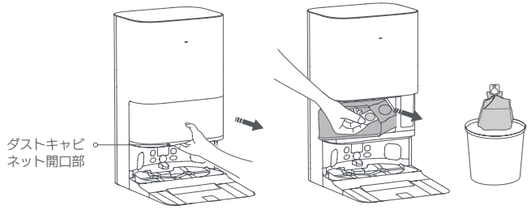
ロボット掃除機には、高性能のリチウムイオンバッテリーパックが内蔵されています。最適なバッテリー性能を維持するために、日常の使用中は、十分に充電された状態を維持してください。

注意：ロボット掃除機を長期間使用しない場合は、電源を切り、収納してください。過放電による損傷を避けるために、少なくとも 3 か月に 1 回はロボット掃除機を充電してください。

日常のお手入れ

使い捨てパックの交換

1.使い捨てパックがいっぱいになったら、ダストキャビネット開口部からカバーを引き出します。ハンドルを使って、使い捨てパックを取り外し、廃棄します。

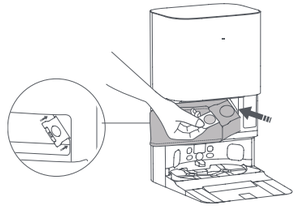


注意：使い捨てパックのハンドルを引っ張ると、パックが密閉され、ダストやごみが誤ってこぼれ落ちるのを防ぎます。

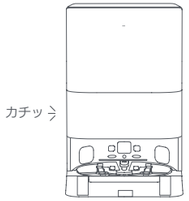
2.乾いた布を使って、フィルターのほこりなどの汚れを拭き取ります。



3.図のとおりに新しい使い捨てパックを取り付けて、パックのハンドルをスロットに差し込みます。



4.ダストキャビネットカバーを元に戻します。「カチッ」と音がしたら正しく取り付けられています。



トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対処方法
ロボット掃除機の電源がオンにならない。	ロボット掃除機のバッテリー残量が低下している。 周囲温度が低すぎる、または高すぎる。	ロボット掃除機を使用する前に充電してください。 ロボット掃除機は、周囲温度 0°C から 40°C の範囲でご使用ください。
ロボット掃除機が充電されない。	Omni ステーションが電源に接続されていないか、接触不良である。	コードセットが Omni ステーションの電源ポートと電源コンセントに正しく差し込まれていることを確認してください。 Omni ステーションとロボット掃除機の充電端子をクリーニングします。
ロボット掃除機がネットワークに接続できない。	Wi-Fi パスワードが間違っている。 ロボット掃除機が 5 GHz ネットワークとエンタープライズ向けルーターに対応していない。 Wi-Fi 電波が弱い。 ロボット掃除機がネットワーク接続状態でない。	正しい Wi-Fi パスワードを入力してください。 ロボット掃除機を 2.4 GHz のホームネットワークに接続してください。 ロボット掃除機が Wi-Fi 電波の強い場所にあることを確認してください。 アプリでロボット掃除機を削除し、ロボット掃除機の Wi-Fi 接続をリセットしてから、ネットワークに再び接続してみます。
ロボット掃除機が Omni ステーションを見つけられない、または戻れない。	Omni ステーションの周りに障害物が多すぎる。 信号発信エリアが汚れている。 Omni ステーションが電源に接続されていない。 ロボット掃除機が乗っていないときに Omni ステーションを移動した。 ロボット掃除機が Omni ステーションに戻る途中に閉まったドアなどの障害物で通れなくなっている。 Omni ステーションに乗っていないときにロボット掃除機を移動したため、位置決めできない。 ロボット掃除機が Omni ステーションから遠すぎて戻れない。	Omni ステーションを障害物のない場所に移動します。 ロボット掃除機を手で Omni ステーションに置いて充電します。 Omni ステーションの信号発信エリアを拭いて、ほこりや汚れが付かないようにします。 Omni ステーションの AC アダプタに接続します。
ロボット掃除機が引っかかって Omni ステーションに戻れない。	Omni ステーションの周りに障害物が多すぎる。 ロボット掃除機が Omni ステーションに戻る途中に閉まったドアなどの障害物で通れなくなっている。 滑りやすい床でロボット掃除機が滑っている。 Omni ステーションが傾いているか、または平坦でない床に置かれている。	Omni ステーションを障害物のない場所に移動します。 ロボット掃除機を手で Omni ステーションに置いて充電します。 床の水を手で拭き取ることをお勧めします。 Omni ステーションを正しく配置してから、やり直してください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対処方法
ロボット掃除機の電源がオフにならない。	ロボット掃除機が充電中である。	ロボット掃除機は充電中でないときに限り、電源をオフにすることができます。Omni ステーションからロボット掃除機を移動し、電源ボタンを 3 秒間長押しして、ロボット掃除機の電源をオフにします。 電源をオフにできない場合は、リセットボタンを 10 秒間長押しして、強制的に電源をオフにします。それでも問題が解消しない場合は、アフターサービス窓口にお問い合わせください。
ロボット掃除機が充電されない、または充電に時間がかかる。	バッテリー残量が少なすぎる。 周囲温度が低すぎる、または高すぎる。 充電端子が汚れている。	ロボット掃除機は通常は 6 時間でフル充電されます。 周囲温度が高すぎる場合や低すぎる場合は、バッテリーの寿命を延ばすためにロボット掃除機が自動的に充電速度を落とすことがあります。これは正常です。 充電端子を乾いた布で拭いてください。
サイドブラシが外れる。	サイドブラシが所定の位置に取り付けられていない。 サイドブラシに異物が絡まったため外れた。	サイドブラシを取り付け直します。「カチッ」と音がしたら所定の位置に取り付けられています。 ロボット掃除機を使用する前に、フロアの異物を取り除いてください。
モップパッドホルダーが外れる。	モップパッドホルダーに異物が絡まったため外れた。	ロボット掃除機を使用する前に、フロアの異物を取り除いてください。
ロボット掃除機の動作中に大きな音がする。	ダストカップが満杯である。 サイドブラシまたはブラシに異物が絡まっているか、ダストカップに異物がある。 ロボット掃除機の吸引レベルが強い。	ダストカップのごみを捨ててください。 異物があるか確認し、ある場合は取り除きます。 ロボット掃除機の吸引レベルをスタンダードモードかサイレントモードに下げてください。
ロボット掃除機がめちゃくちゃなルートで動く。	床に物が散らばっていて、ロボット掃除機の動作に影響している。 滑りやすい床でロボット掃除機が滑っている。 構造化光障害物回避モジュールが汚れている。	ロボット掃除機を使用する前に床を片付けてください。 床の水を手で拭き取ることをお勧めします。 ロボット掃除機の構造化光障害物回避モジュールを柔らかいきれいな布で拭き、モジュールが妨げられておらずきれいな状態に保ってください。
ロボット掃除機が一部の部屋を掃除しない。	掃除しているルートの途中に、閉じたドアや高さ 2 cm を超える敷居などの障害物があり、ロボット掃除機が通れない。 部屋の入り口が滑りやすいため、ロボット掃除機が滑って正しく動作しなくなっている。	すべての部屋のドアが完全に開け放たれていることを確認してください。 注意：ロボット掃除機は高い敷居を乗り越えることができません。 床の水を手で拭き取ることをお勧めします。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対処方法
ロボット掃除機が制限エリアに入ったり、仮想壁を越えたりすることがよくある。	アプリのマップにエラーがある。 仮想壁または制限エリアの境界を最適化する必要がある。	アプリでマップを確認してください。マップリストから異常なマップを削除して、マップを作成し直します。マップの縮尺に起因して、設定した仮想壁または制限エリアが目的の場所からずれています。ロボット掃除機の走行ルートを確認し、下がった階段や家具の下のエリアなど、ロボット掃除機が引っかかりやすいエリアがすべて含まれるように、家庭環境に合わせて境界を調整してください。
予定されていた清掃が機能しない。	ロボット掃除機のバッテリー残量が低下している。	ロボット掃除機は、バッテリー残量が 30% 以上の場合に限り、予定されていた清掃を開始します。ロボット掃除機を適時充電してください。
ロボット掃除機が動作中に現在のタスクを突然中断する。	ロボット掃除機のバッテリー残量がなくなった。 Omni ステーションが電源に接続されていないため、ロボット掃除機が Omni ステーションで充電できない。	ロボット掃除機を手で Omni ステーションに置いて充電します。 Omni ステーションが電源に正しく接続されていることを確認してください。 それでも問題が解消しない場合は、アフターサービス窓口にお問い合わせください。
ロボット掃除機が清掃の途中で充電した後、清掃を再開しない。	ロボット掃除機が DND モードになっている。 Omni ステーションから移動されるなどして、ロボット掃除機が手動で充電され、アプリまたは本体のボタンで Omni ステーションに戻るよう操作が行われた。	ロボット掃除機が DND モードになっている場合や手動で充電した後は、清掃が再開されません。
Omni ステーションの表示ランプがオレンジ色に点滅している。	清浄水タンクの水量が不足している。 清浄水タンクまたは汚水タンクが取り付けられていない。 汚水タンクがいっぱいである。	適切なタイミングで清浄水タンクに水を入れてください。 清浄水タンクと汚水タンクを所定の位置に取り付けます。 汚水タンクを清掃してください。
ロボット掃除機の清浄水タンクの水位音声ガイダンスが誤っている。	清浄水タンクのフローターがないか、動かなくなっている。	フローターの位置を手で直します。 問題が解消しない場合は、アフターサービス窓口にお問い合わせください。

トラブルシューティング

問題	考えられる原因	対処方法
洗濯板スタンドで水位エラーが発生している。	洗濯板スタンドが塞がれている。 汚水タンクが所定の位置に取り付けられていない。 汚水タンクのシーリングリングが緩んでいる。	洗濯板と洗濯板スタンドをクリーニングしてください。 汚水タンクを取り付け直します。 汚水タンクのシーリングリングを所定の位置に取り付けます。 問題が解消しない場合は、アフターサービス窓口にお問い合わせください。
Omni ステーションがダストを自動排出できない。	使い捨てパックがいっぱいである。 自動排出口が塞がれている。	使い捨てパックを新しいものに交換します。 使い捨てパックがいっぱいでない場合は、すべての自動排出口を点検して清掃してください。
ダスト排出処理に通常よりも時間がかかる。	Omni ステーションがしばらく使用中だった場合は、機能がスムーズに動作するか確認するために、その後のダスト排出処理に少し時間がかかることがあります。これは正常です。	/

環境への配慮

このロボット掃除機の内蔵充電式リチウムイオンバッテリーには、環境を汚染する可能性のある化学物質が含まれています。廃棄する前に、専門の技術者に依頼してバッテリーを取り外し、専門のリサイクル機関に廃棄してください。

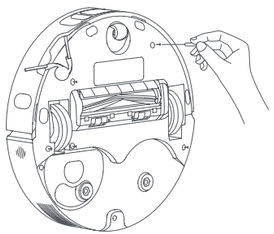
- ロボット掃除機を廃棄する前に、バッテリーを取り外してください。
- バッテリーを取り外す前に、ロボット掃除機を電源から抜いてください。
- バッテリーは安全に廃棄してください。

バッテリーの取り外し手順

1. ロボット掃除機を逆さまにして、ロボット掃除機の背面にある 5 本のネジを工具を使って取り外し、カバーを外します。
2. バッテリーとマザーボードとの間の接続端子のプラグを抜いて、バッテリーを取り外します。

注意：

- バッテリーを取り外す前に、ロボット掃除機を電源から抜き、バッテリーができるだけ切れるまで動作させてください。
- バッテリーは専門のリサイクル機関に返却してください。
- バッテリーを高温にさらさないでください。爆発の原因となる恐れがあります。
- バッテリーの液漏れが発生し、誤って触れてしまった場合は、すぐに大量の水で洗い流し、医師の診察を受けてください。



製品の仕様

ロボット掃除機

製品名	ロボット掃除機
型番	OV31GL
製品寸法	350 × 88 mm （高さ自動調整レーザーレーダーを下げた場合）
リチウムイオンバッテリー	4800 mAh（定格容量） 5200 mAh（公称容量）
充電時間	6 時間
本体重量	3.75 kg
対応 OS	Android 9.0 または iOS 12.0 およびそれ以上のバージョン
無線接続	Wi-Fi IEEE 802.11 b/g/n/ax 2.4 GHz、BLE5.2
定格電圧	14.4 V ⎓
充電電圧	20 V ⎓
定格消費電力	55 W
動作周波数	2400–2483.5 MHz
最大出力	< 20 dBm

通常の条件において本機器を使用するにあたり、アンテナとユーザーの身体の間に最低 20 cm の距離をおくものとします。

詳細については、www.mi.com をご覧ください。
製造元：Xiaomi Communications Co., Ltd.
所在地：#019, 9th Floor, Building 6, 33 Xi'erqi Middle Road, Haidian District, Beijing, 100085, China
中国製

Omni ステーション

型番	OV31-JZUS
製品寸法	470 × 360 × 572 mm （洗濯板スタンドエクステンダーを含む） 260 × 360 × 572 mm （洗濯板スタンドエクステンダーを除く）
定格入力	100–120 V ~ 50/60 Hz
定格出力	20 V ⎓ 1.5 A
定格入力電力（ダスト排出中）	350–510 W
定格入力電力（温水清掃中）	1000–1500 W
定格入力電力（空気乾燥中、充電中）	78 W
消費電力	スタンバイモード：≤ 0.5 W
この状態になるまでの所要時間	スタンバイモード：≤ 20 分

注意：

- 定格入力電力（温水清掃中）は水温 15°C での標準値です。
- 定格入力電力（空気乾燥中、充電中）は全負荷電力値に基づいて決まります。

WEEE 処理とリサイクル情報

この記号が印刷されたすべての製品は 2012/19/EU において定義される電気電子廃棄物指令（WEEE）で、分類されていない家庭ごみと分別してください。廃棄の際はお住まいの地域の定めるリサイクル方針に従い環境の保護に努めてください。正しい方法で廃棄およびリサイクルすることで、環境保全と健康への影響を最小限に抑えることができます。お住まいの地域のごみ分別条件については各自治体にお問い合わせください。

Safety Information

Read this manual carefully before use, and retain it for future reference.

Usage Restrictions

- This product is for floor cleaning in a home environment only. Do not use it outdoors, on non-floor surfaces, or in a commercial or industrial setting.
- This appliance can be used by children aged from 8 years and above and persons with reduced physical, sensory or mental capabilities or lack of experience and knowledge if they have been given supervision or instruction concerning use of the appliance in a safe way and understand the hazards involved. Children shall not play with the appliance. Cleaning and user maintenance shall not be made by children without supervision.
- This appliance is not intended for use by persons including children with reduced physical, sensory or mental capabilities, or lack of experience and knowledge, unless they have been given supervision or instruction concerning use of the appliance by a person responsible for their safety.
- Children should be supervised to ensure that they do not play with the appliance.
- If the cord set is damaged, it must be replaced by a special cord set available from the manufacturer or its service agent.
- This appliance contains batteries that are only replaceable by skilled persons.
- Ensure children and pets are kept at a safe distance from the robot vacuum while it is operating.
- Do not use the robot vacuum in an area suspended above ground level without a protective barrier.
- Do not place the robot vacuum upside down. Do not move the robot vacuum by using its LDS laser sensor cover, cover, or bumper as a handle.
- Do not install, charge, or use this robot vacuum outdoors, in bathrooms, or near a pool.
- A hazard may occur if the appliance runs over the supply cord.
- Remove fragile or small items from the floor to prevent the robot vacuum from bumping into and damaging them.
- Do not place children, pets, or any item on top of the robot vacuum regardless of whether it is stationary or moving.

- Keep hair, fingers, and other body parts away from the suction opening of the robot vacuum.
- Do not use the robot vacuum to clean any burning substances.
- Do not vacuum up hard or sharp objects.
- The plug must be removed from the socket-outlet before cleaning or maintaining the appliance.
- Do not wipe the robot vacuum or station with a wet cloth or rinse them with any liquid. After cleaning washable parts, fully dry the parts before reinstalling and using them.
- Make sure the robot vacuum is turned off when being transported and kept in its original packaging if possible.
- Please use this product in accordance with the instructions in the user manual. Users are responsible for any loss or damage arising from improper use of this product.
- Do not use the robot vacuum at an ambient temperature above 40°C or below 0°C or on a floor with liquids or sticky substances.
- When a voice message "Network connected successfully" is heard, the device has a successful connection with the network and has stored the Wi-Fi SSID and password. The information will be used for network-related services, and the personal data processing should be referred to the Privacy Policy.

Battery and Charging WARNINGS

CAUTION: In order to avoid a hazard due to inadvertent resetting of the thermal cut-out, this appliance must not be supplied through an external switching device, such as a timer, or connected to a circuit that is regularly switched on and off by the utility.

- Do not use any third-party battery, cord set, or omni station. The robot vacuum can only be used with the OV31-JZUS omni station.
- Do not charge non-rechargeable batteries.
- No action needed from users to shift the power frequency between 50 Hz and 60 Hz, and the product can adapt itself for both 50 Hz and 60 Hz.
- Do not attempt to disassemble, repair, or modify the battery or omni station on your own.
- Do not place the omni station near a heat source.
- Do not use a wet cloth or wet hands to wipe or clean the omni station's charging contacts.
- Do not expose the appliance or battery to excessive temperatures.

- Be aware of the risk of terminals of the battery-operated appliance or battery being short-circuited by metal objects.
- If the robot vacuum won't be used for an extended period, fully charge it, then turn it off and store in a cool, dry place. Recharge the robot vacuum at least once every 3 months to avoid over-discharging the battery.
- Do not damage the battery when removing it to avoid short circuits or liquid leakage. If the battery leaks, keep the fluid from touching your skin or clothes, and wipe it away immediately with a dry cloth. Then send the battery to an appropriate recycling facility or the designated after-sales service team to properly dispose of it.
- The lithium-ion battery pack contains substances that are hazardous to the environment. Before disposing of the robot vacuum, please first remove the battery pack, then discard, or recycle it in accordance with local laws and regulations of the country or region it is used in.
- When removing the batteries from the product, it is better to use up the batteries and make sure your product is disconnected from power.

1. Uninstall the screw on the bottom, then remove the cover.
2. Unplug the battery connector, then remove the batteries. Do not damage the battery case to avoid any risk of injuries.
3. Return the batteries to a professional recycling organization.
   - The battery must be removed from the appliance before it is scrapped.
   - The appliance must be disconnected from the supply mains when removing the battery.
   - The battery is to be disposed of safely.

 For indoor use only.

 Before use, read the instructions.

Laser Safety Information

The laser sensor in this product meets the IEC 60825-1: 2014 and EN 60825-1:2014/A11:2021 Standard for Class 1 laser products. Please avoid direct eye contact with it during use.

CLASS 1 LASER PRODUCT

CONSUMER LASER PRODUCT

EN 50689:2021

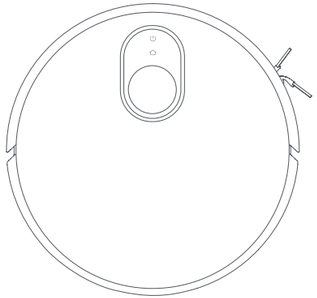
EU Declaration of Conformity

CE

Xiaomi Communications Co., Ltd. declares that the radio equipment type OV31GL is in compliance with Directive 2014/53/EU. The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address: https://www.mi.com/global/support/terms/declaration

For detailed e-manual, please go to www.mi.com/global/support/user-guide

The product does not have a standby mode or other equivalent state in terms of energy efficiency requirements or power management function, the power consumption of the product is likely to be higher than other products meeting these functional requirements.



Robot Vacuum

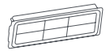
Note: Illustrations of product, accessories, and user interface in the user manual are for reference purposes only. Actual product and functions may vary due to product enhancements.

Accessory List

Pre-installed Accessories



Dust Compartment



Filter
(pre-installed on the dust compartment)



Side Brush

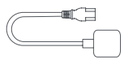


Anti-tangle Hair-cutting Brush

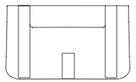


Brush Cover

Other Accessories



Cord Set



Washboard Base Extender



Mop Pad Holder × 2
(with pre-installed mop pad × 2)



User Manual



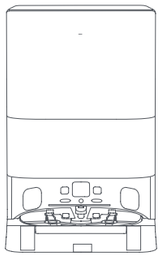
Image Guide



Quick Start Guide

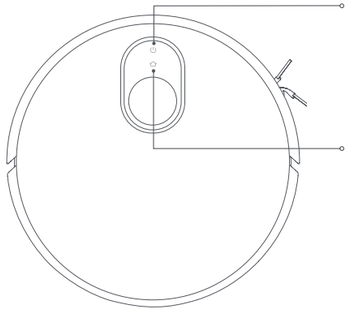


Warranty Notice



Omni Station
(with a pre-installed disposable bag, clean water tank, dirty water tank, and washboard)

Robot Vacuum



Start/Cleanup

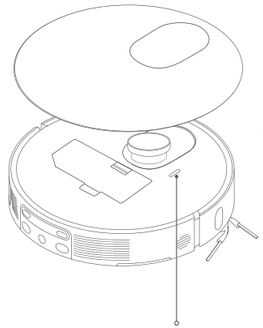
- Press and hold for 3 seconds to turn on or off
- Press to start cleaning or pause while turned on

Dock

- Press to pause while running
- While paused, press to return the robot vacuum to the omni station for charging
- Press to stop docking while returning to the omni station
- Press and hold for 3 seconds to enable or disable the child lock

+ Indicator

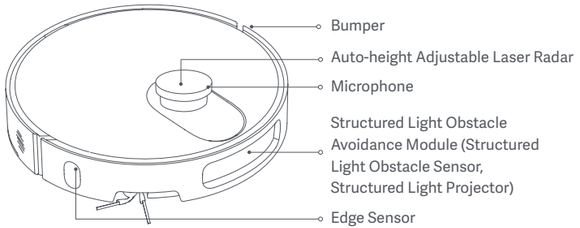
- White: Cleaning/Cleanup completed/Fully charged
- Blinking white: Returning to charge/Repositioning
- Breathing white: Charging (medium/high battery level)
- Breathing orange: Charging (low battery level)
- Blinking orange: Wi-Fi disconnected/Malfunction/Awaiting network connection/ Connecting to network/Firmware updating

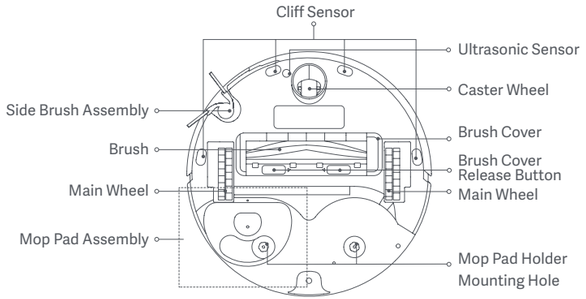


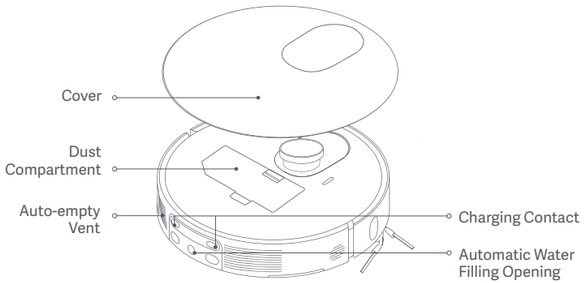
Reset Button/Wi-Fi Indicator

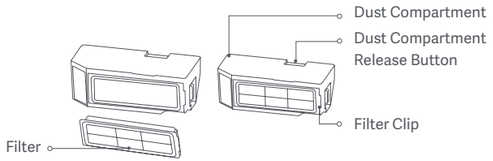
- Press and hold for 3 seconds with a tool to restore factory settings
- Press and hold for 10 seconds with a tool to forcefully turn off the robot vacuum and restore factory settings
- Blue: Wi-Fi connected
- Blinking orange: Awaiting network connection/Wi-Fi disconnected
- Blinking blue: Connecting to network

Robot Vacuum and Sensors







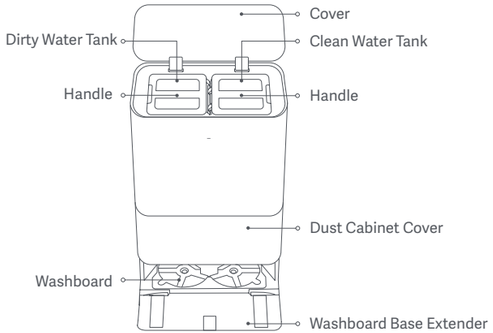


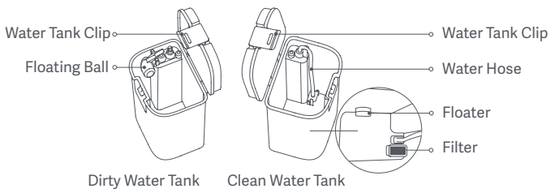
Notes:

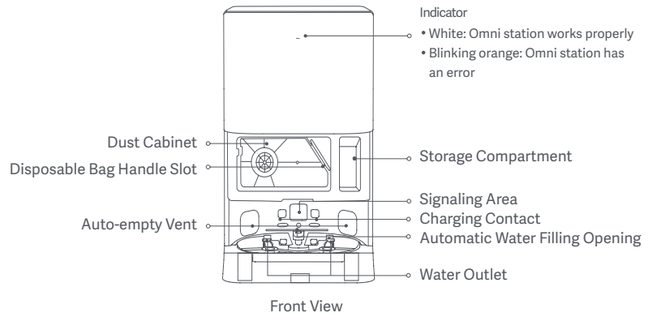
· The auto-height adjustable laser radar will lower when the robot vacuum is in standby mode, charging or cleaning a low area.

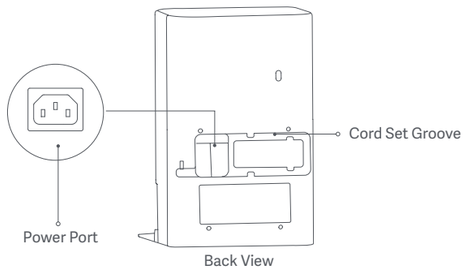
· When cleaning a low area, do not move the robot vacuum to avoid affecting positioning.

Omni Station



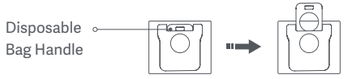






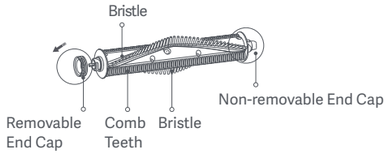
Product Overview

Disposable Bag

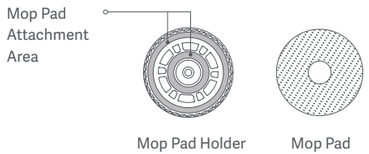


Note: The omni station is pre-installed with a new disposable bag when leaving the factory. Purchasing the dedicated disposable bag from official channels as a replacement is recommended.

Anti-tangle Hair-cutting Brush



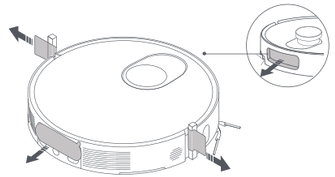
Mop Pad Assembly



How to Install

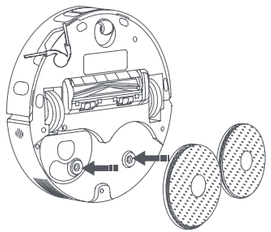
Removing Protective Coverings

Remove the protective coverings from the robot vacuum before use.



Installing the Mop Pad Assembly

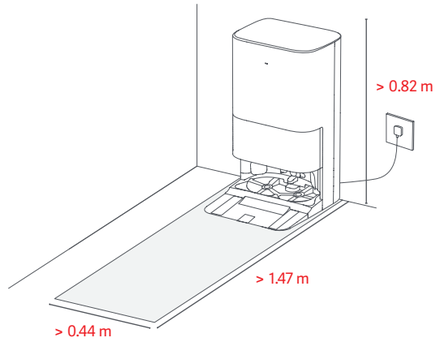
Install the mop pad assembly onto the mop pad holder mounting hole. It is properly installed when you hear a "click".



How to Install

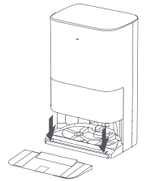
Placing the Omni Station

- Place the omni station against a wall on a flat and hard-surfaced floor, such as a wooden or tiled floor.
- Leave a space that is more than 0.82 m, 1.47 m, and 0.44 m in height, length, and width, respectively.



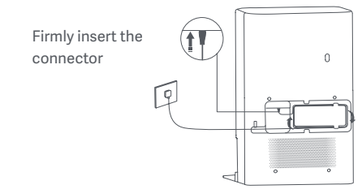
Installing the Washboard Base Extender

- Install the washboard base extender to the omni station along the direction as illustrated.
- Make sure the washboard base extender is flush with the bottom of the omni station, and the bottom surface is even.



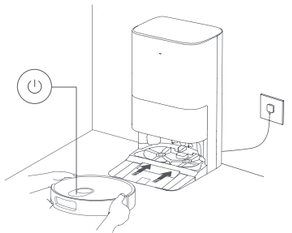
Connecting to Power

- Place the omni station in an appropriate area, connect the cord set to it, and plug the cord set into an electrical outlet.
  Note: Firmly plug the connector of the cord set into the power port of the omni station until the indicator stays white.



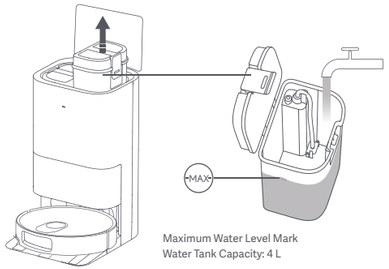
Charging the Robot Vacuum

- Before use, press and hold the button ⏻ on the robot vacuum for 3 seconds to turn it on.
- After turning on the robot vacuum, place it onto the omni station with its charging contacts aligned with those of the omni station.
- When you hear a voice prompt to start charging, the robot vacuum is successfully connected to the omni station.



Notes:
- Before the first use, it is recommended to fully charge the robot vacuum.
- If the robot vacuum cannot be turned on due to battery depletion, manually place the robot vacuum onto the omni station to charge for a while.
- When the robot vacuum is being charged, it will automatically turn on and cannot be turned off.

Filling the Clean Water Tank with Clean Water



Maximum Water Level Mark
Water Tank Capacity: 4 L

Notes:
- Do not add water above the maximum water level mark (MAX).
- Do not add hot water to the water tank, as this may cause the tank to become deformed.

Connecting with the Xiaomi Home App

This product works with the Xiaomi Home app. Use the Xiaomi Home app to control your device, and to interact with other smart home devices.
Scan the QR code to download and install the app. You will be directed to the connection setup page if the app is installed already. Or search for "Xiaomi Home" in the app store to download and install it.
Open the Xiaomi Home app, tap "⊕" on the upper right, and then follow the instructions to add your device.

2663139D

Notes:
- The robot vacuum works with the Xiaomi Home app and is compatible with Android 9.0 & iOS 12.0 or above.
- The robot vacuum only supports 2.4 GHz Wi-Fi networks.
- The version of the app might have been updated, please follow the instructions based on the current app version.
- When the robot vacuum connects with the Xiaomi Home app successfully, it connects with the network successfully. You can have a reset of Wi-Fi to disconnect it from the network.

Resetting Wi-Fi

Reset the Wi-Fi when the robot vacuum is disconnected from the network, or needs to change the network.
1. Open the cover of the robot vacuum to expose the Wi-Fi indicator.
2. Press and hold the buttons ⏻ and ⌂ for 7 seconds until there is a voice message of awaiting network configuration. When the Wi-Fi indicator blinks, it indicates that the robot vacuum has reset successfully.
3. Reconnect to the network in the app. When the Wi-Fi indicator is blue, it indicates that the robot vacuum is connected to the network successfully.

Turning On/Off

- Press and hold the button ⏻ for 3 seconds to turn the robot vacuum on. When the indicator on the robot vacuum lights up, it means the robot vacuum enters the standby mode.
- When the robot vacuum is paused and not being charged, press and hold the button ⏻ for 3 seconds to turn it off.

Note: When the robot vacuum is charging, it will automatically turn on and cannot be turned off.

Quick Map Creation

· After connecting the network for the first time, follow the instructions in the app to quickly create a map, and the robot vacuum will start mapping without cleaning.
· The mapping process will be completed when the robot vacuum returns to the omni station, and the map will be saved automatically.

Notes:
· Ensure the robot vacuum has been fully charged and starts from the omni station.
· Before mapping, remove the items on the floor, open the doors of the rooms, and block the areas unsuitable for the robot vacuum to enter.
· During map creation, do not follow, move, or interrupt the robot vacuum or move the omni station.
· After mapping, set up virtual walls or restricted areas in areas unsuitable for the robot vacuum to enter, such as areas where it may get stuck or be scraped.
· Set up virtual walls or restricted areas in areas with long-hair or fringe carpets to prevent entanglement with the robot vacuum.
· Set up virtual walls or restricted areas to exclude carpeted areas before mopping to prevent the carpet from getting wet.

Pausing

When the robot vacuum is running, press any button to pause it.

Note: Do not lift or move the robot vacuum while it is paused. Otherwise, it may have navigation errors that could prevent the robot vacuum from returning to the omni station or cause the loss of the map.

Sleep Mode

· The robot vacuum will automatically enter sleep mode after it is paused for 10 minutes.
· While in sleep mode, the robot vacuum indicator goes off. Press any button on the robot vacuum to wake it up.

Note: The robot vacuum will automatically turn off after being in sleep mode for over 12 hours.

Resuming Cleanup

If the robot vacuum starts running low on battery during a cleaning task, it will automatically return to the omni station to charge. When the robot vacuum is sufficiently charged, it will resume cleanup where it left off.

Note: The robot vacuum will not resume cleanup in DND mode or after manual recharging.

Child Lock Settings

Press and hold the button on the robot vacuum for 3 seconds to enable or disable the child lock.

Note: When the child lock function is enabled, the buttons on the robot vacuum will not Work. Instead, you can control the robot vacuum via the app.

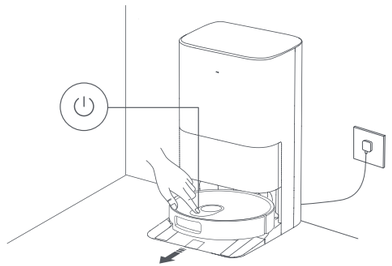
Dust Emptying

When the robot vacuum automatically returns to the omni station to charge after completing a vacuuming and mopping task, a vacuuming before mopping task, or a vacuuming task, the omni station will automatically start emptying dust.

Notes:
· When the robot vacuum returns midway to the omni station to clean mop pads, the omni station will not automatically start emptying dust.
· If auto-empty is disabled in the app, the omni station will not automatically start emptying dust.
· If you change the auto-empty frequency in the app, the omni station will empty dust at the set frequency.

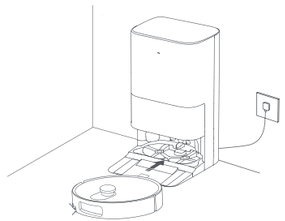
Vacuuming and Mopping

1. Start cleaning
· Ensure the mop pad assembly and other necessary parts have been installed onto the robot vacuum and the clean water tank has been filled with water.
· Select the vacuuming and mopping mode in the app, and use the app or press the button on the robot vacuum to start cleaning.
· Then the robot vacuum will start from the omni station, plan the optimal cleaning route and perform the cleaning task based on the created map.

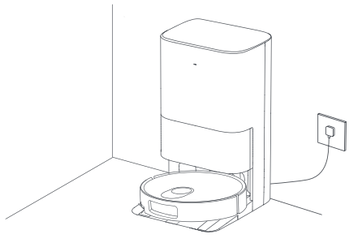


Notes:
- When using the robot vacuum for the first time, it is recommended to follow the robot vacuum throughout the whole process to remove the items that may affect the work of the robot vacuum.
- If the robot vacuum may get stuck or scratch the surface of furniture in some areas, you can set restricted areas in the app to prevent the robot vacuum from entering these areas.
- The robot vacuum will moisten the mop pads before starting the task. Please wait with patience.
- Before using the robot vacuum, ensure the omni station is connected to the power and the robot vacuum is connected to the omni station.
- To ensure that the robot vacuum can return to the omni station successfully after completing vacuuming and mopping, it is recommended to make the robot vacuum start from the omni station. Do not move the omni station, the clean water tank, the dirty water tank, or the washboard during cleaning.
- The function of cleaning the mop pads with hot water can be enabled in the app. Once enabled, do not touch the water outlet on the washboard base to prevent scalding.

2. Automatically return to clean mop pads midway
During cleaning, the robot vacuum may automatically return to the omni station to wash the mop pads and add water to the water tank after it cleans certain squares of area. Once the mop pads have been washed, the robot vacuum will resume its cleaning task.



3. Auto dust emptying & mop pad cleaning and air-drying
When the robot vacuum has completed its cleaning task and returned to the omni station to charge, the omni station will automatically start emptying dust and then clean and air-dry the mop pads.



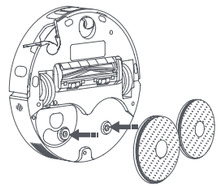
4. Clean the dirty water tank
After the mop pads have been cleaned and air-dried, clean the dirty water tank in time to prevent odors.

Vacuuming Before Mopping

- Ensure the robot vacuum's parts, such as the mop pad assembly, have been installed and water has been added to the clean water tank.
- Select the vacuuming before mopping mode in the app, then use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to start cleaning, and the robot vacuum will lift the mop pad assembly to start vacuuming.
- Once vacuuming is completed, it will return to the omni station to automatically empty dust, moisten the mop pads, and then lay down the mop pad assembly to start mopping.

Vacuuming Only

- Select the vacuuming only mode in the app, and then use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to start cleaning.
- The robot vacuum will lift the mop pad assembly, leave the omni station to start vacuuming, and return to the omni station after finishing the vacuuming task to automatically empty dust.



Note: If the mop pad assembly has been removed, the robot vacuum will automatically carry out the vacuuming only task when started.

Mopping Only

- Ensure the robot vacuum's parts, such as the mop pad assembly, have been installed and water has been added to the clean water tank.
- Select the mopping only mode in the app, then use the app or press the button ⏻ on the robot vacuum to start cleaning, and the robot vacuum will automatically moisten the mop pads before leaving the omni station and starting to mop.
- Once mopping is completed, it will return to the omni station to clean and dry the mop pads.

More App Features

Map settings
The homepage of the app displays the current map used for vacuuming and mopping. You can set areas to avoid in the settings for restricted areas and edit the current map in map management.

Cleaning settings
You can adjust the cleaning mode, the suction level, and the water flow rate based on the dirtiness of the floor and specific needs.

Omni station settings
· Auto-empty settings: You can enable or disable auto-empty and change the auto-empty frequency.
· Mop pad cleaning settings: You can adjust the frequency with which the robot vacuum returns for cleaning mop pads.

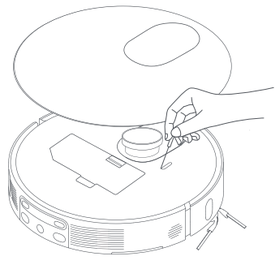
Notes:
· You must create a map first before selecting a zone to clean, carrying out zoned cleanup, or editing the map.
· Please refer to the app for more functions. Details of each function are subject to the app.

Firmware Update

You can update the firmware in the app. Before updating, make sure the robot vacuum is on the omni station and the battery level is more than 30%.

Restore Factory Settings

If the robot vacuum malfunctions and cannot be used normally, press and hold the reset button for 3 seconds with a tool until there is a voice message of starting to restore factory settings, and the robot vacuum will be restored to the factory settings. If the factory settings couldn't be restored, press and hold the reset button for 10 seconds to forcefully turn off the robot vacuum and restore factory settings.



Maintenance for Parts

To keep the robot vacuum in good condition, it is recommended to refer to the following table for routine maintenance.

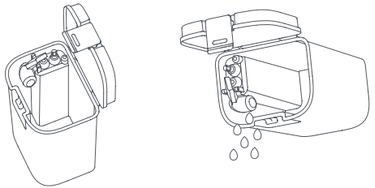
Parts	Cleaning Frequency	Replacement Frequency
Dirty Water Tank	Clean after each use	/
Clean Water Tank	Clean once every 2 weeks	
Washboard	Clean once every 1 to 2 weeks	
Anti-tangle Hair-cutting Brush	Clean once every 2 weeks	3 to 6 months
Side Brush	Clean once every 2 weeks	3 to 6 months
Dust Compartment	Clean as required	/
Filter (Pre-installed on the dust compartment)	Clean once every 2 weeks	6 to 12 months
Mop Pad	/	6 to 12 months
Caster Wheel	Clean every month	/
Auto-height Adjustable Laser Radar		
Edge Sensor		
Structured Light Obstacle Avoidance Module		
Cliff Sensor		

Parts	Cleaning Frequency	Replacement Frequency
Robot Vacuum's Charging Contacts	Depending on actual use	/
Bumper		
Auto-empty Vent of Robot Vacuum		
Auto Water Inlet of Robot Vacuum		
Bottom of Robot Vacuum		
Omni Station		
Auto-empty Vent of Omni Station		
Omni Station's Charging Contacts		
Omni station's Signaling Area		
Disposable Bag	/	Replace about every 2.5 months depending on actual use

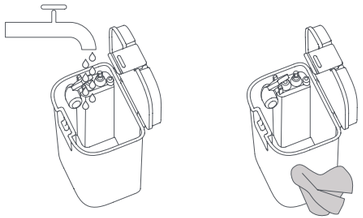
Notes:
· The replacement frequency is for reference only. If a part is damaged, it should be replaced promptly to ensure efficient cleaning.
· To move or ship the robot vacuum, empty the clean and dirty water tanks to avoid the robot vacuum getting damaged in transit.

Cleaning the Clean and Dirty Water Tanks

1. Remove both the clean and dirty water tanks, open the lids, and pour out the water.



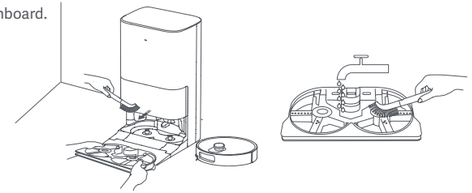
2. Use clean water to completely wash the tanks, and then wipe the outside of the tanks dry before reinserting them into the omni station.



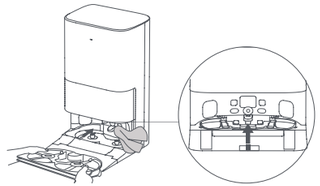
Note: The floating balls in the clean and dirty water tanks are moving parts. Do not use too much force when cleaning the water tanks to avoid damage.

Cleaning the Washboard and Washboard Base

1. Enable the omni station auxiliary flushing function in the app and the robot vacuum will automatically leave the omni station. Manually remove the washboard, and the omni station will automatically inject water into the washboard base. Use a cloth or brush to clean the washboard base and the washboard.



2. Wait for 3 minutes, and the omni station will automatically pump out the dirty water. Wipe dry the washboard base and the washboard with a dry cloth, and reinstall the washboard onto the omni station. Make sure the dirty water hose of the omni station is inside the groove of the washboard (as illustrated) to avoid warping the dirty water hose; otherwise, it may affect normal use.

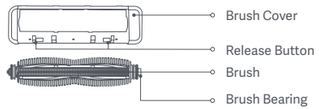


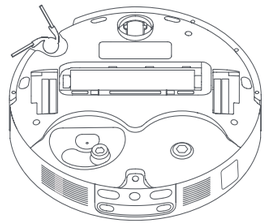
Note: Do not tilt the omni station during daily use or cleaning. If water collects in the washboard base, wipe it dry with a cloth.

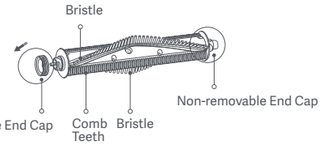
Cleaning the Anti-tangle Hair-cutting Brush

1. Remove the brush cover and the brush.
2. Remove the brush's removable end cap.
3. Clean the two ends of the brush and gaps of the comb teeth with proper tools.
4. Put back the removable end cap, and then reinstall the brush and the brush cover. Make sure they are firmly secured.

CAUTION: If too much hair is tangled in the brush, or if the hair is tightly tangled, do not forcibly pull on it, as this could damage the brush.



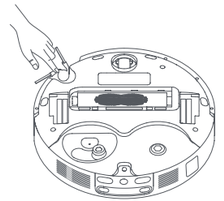




Notes:
If the anti-tangle hair-cutting brush is severely tangled with hairs, check whether the dust compartment and the disposable bag are full. If yes, empty the dust compartment and replace the disposable bag in a timely manner to ensure normal auto-empty function.

Cleaning the Side Brush

1. Turn the robot vacuum upside down, pull the side brush upwards, and clean it.
2. Reinstall the side brush into the robot vacuum.

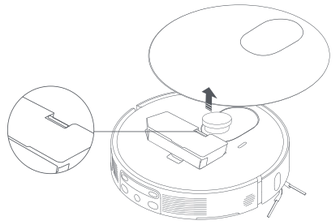




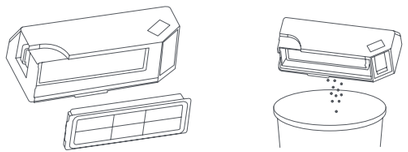
When reinstalling the side brush, align it with the slot.

Cleaning the Dust Compartment and Filter

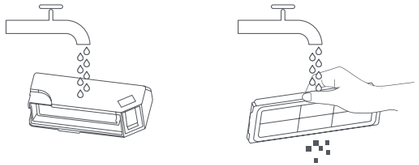
1. Open the cover of the robot vacuum, and press the dust compartment release button to remove the dust compartment upward from the robot vacuum.



2. Remove the filter from the filter clip, gently tap the filter frame to remove any dirt, and empty the trash from the dust compartment.

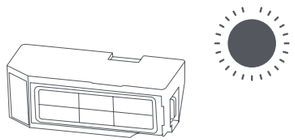


3. If necessary, rinse the dust compartment and the filter with clean water.



Notes:
· Do not attempt to clean the filter with a brush or your fingers.
· Frequent rinse is not recommended, otherwise the filter may be damaged.
· Only use clean water to clean the dust compartment and filter. Do not use detergent.

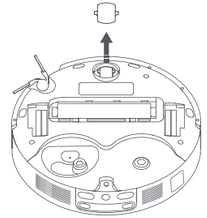
4. Fully dry the dust compartment and filter before reinstalling them.



Cleaning the Caster Wheel

1. Flip the robot vacuum over and pull out the caster wheel.
2. Remove hair, dirt, and other debris from the wheel and axle.
3. Reinsert the caster wheel and press it firmly back into place.

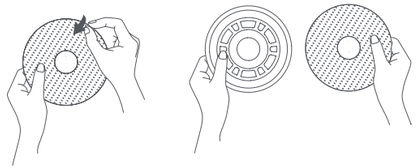




Notes:
· If needed, you can use a tool such as a small screwdriver to gently pry out the axle from the caster wheel, and clean it.
· The wheel can be cleaned with tap water and reinstalled after drying in the air.

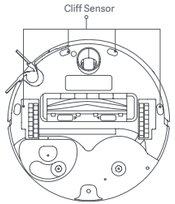
Replacing the Mop Pad

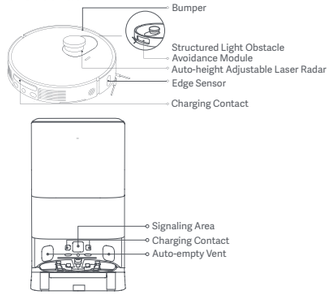
Remove the mop pad from the mop pad holder, and replace it with a new one.



Cleaning Sensors and Charging Contacts

Use a soft dry cloth to clean all sensors and charging contacts on the robot vacuum:
· The cliff sensors on the bottom of the robot vacuum.
· Auto-height adjustable laser radar on the top of the robot vacuum
· Bumper and structured light obstacle avoidance module in the front of the robot vacuum
· Edge sensors on both sides of the robot vacuum
· Charging contacts on the back of the robot vacuum





Cleaning the Omni Station

Clean the signaling area, the charging contacts and the auto-empty vents of the omni station with a soft dry cloth.

Battery Maintenance

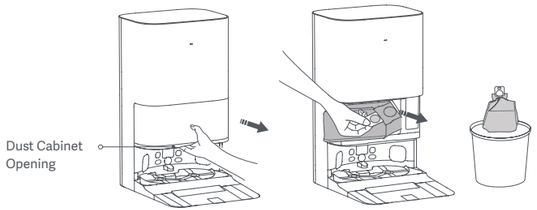
The robot vacuum contains a high-performance lithium-ion battery pack. Please ensure that it remains well-charged during daily use to maintain optimal battery performance.

Note: If the robot vacuum is not used for an extended period, turn it off and put it away. To prevent damage from over-discharging, the robot vacuum should be recharged at least once every three months.

Care & Maintenance

Replacing the Disposable Bag

1. When the disposable bag is full, pull the cover out from the dust cabinet opening. Remove the disposable bag using the handle, and discard it.

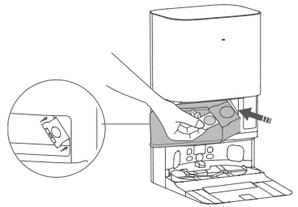


Note: Pulling the handle of the disposable bag will seal the bag to prevent the dust and debris from accidentally falling out.

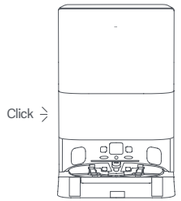
2. Use a dry cloth to wipe away any dirt such as dust from the filter.



3. Install a new disposable bag as illustrated and insert the handle of the bag into the slot.



4. Put the dust cabinet cover back, and it is properly installed when you hear a "click".



Troubleshooting

Issues	Possible Cause	Solution
The robot vacuum cannot turn on.	The robot vacuum runs low battery level. The ambient temperature is too high or too low.	Charge the robot vacuum before use. Use the robot vacuum at an ambient temperature between 0°C and 40°C.
The robot vacuum does not charge.	The omni station is not connected to power or has poor contact.	Make sure the cord set has been properly plugged into the power port of the omni station and electrical outlet. Clean the charging contacts of the omni station and the robot vacuum.
The robot vacuum cannot connect to the network.	The Wi-Fi password is incorrect. The robot vacuum does not support 5 GHz networks and enterprise-grade routers. The Wi-Fi signal is poor. The robot vacuum may be not in the network configuration status.	Enter the correct Wi-Fi password. Connect the robot vacuum to a 2.4 GHz home network. Make sure the robot vacuum is in an area with a strong Wi-Fi signal. Delete the robot vacuum in the app, reset the Wi-Fi connection of the robot vacuum, and try to reconnect it to the network.
The robot vacuum cannot locate or return to the omni station.	Too many obstacles are around the omni station. The signaling area may be dirty. The omni station is not connected to power. The omni station has been moved when the robot vacuum is not on it. The robot vacuum is obstructed by obstacles, such as a closed door on its way back to the omni station. The robot vacuum has been moved when it is not on the omni station, resulting in positioning failure. The robot vacuum is too far away from the omni station to return.	Move the omni station to an open area. Manually place the robot vacuum onto the omni station for charging. Wipe the omni station's signaling area to prevent dust or dirt. Connect to the omni station's power supply.
The robot vacuum gets stuck and cannot return to the omni station.	Too many obstacles are around the omni station. The robot vacuum is obstructed by obstacles, such as a closed door on its way back to the omni station. The robot vacuum slips on the slippery floor. The omni station is tilted or placed on an uneven floor.	Move the omni station to an open area. Manually place the robot vacuum onto the omni station for charging. It is recommended to manually clean the water on the floor. Place the omni station properly and try again.

Issues	Possible Cause	Solution
The robot vacuum does not turn off.	The robot vacuum is being charged.	The robot vacuum can only be turned off while not being charged. Move the robot vacuum from the omni station, and press and hold the power button for 3 seconds to turn off the robot vacuum. If it cannot be turned off, you can press and hold the reset button for 10 seconds to forcefully turn off the robot vacuum. If the problem still persists, please contact the after-sales service team.
The robot vacuum does not charge or charge slowly.	The battery level is too low. The ambient temperature is too high or too low. The charging contacts may be dirty.	It generally takes about 6 hours to fully charge the robot vacuum. The robot vacuum may automatically reduce the charging speed at high or low ambient temperatures to extend the battery's service life. This is normal. Wipe the charging contacts with a dry cloth.
The side brush comes off.	The side brush is not installed in place. The side brush is entangled with foreign objects, causing it to come off.	Reinstall the side brush. It is installed in place when you hear a "click". Remove foreign objects from the floor before using the robot vacuum.
The mop pad holder comes off.	The mop pad holder is entangled with foreign objects, causing it to come off.	Remove foreign objects from the floor before using the robot vacuum.
The robot vacuum makes a loud noise when it is running.	The dust compartment is full. The side brush or brush is entangled with foreign objects, or there are foreign objects in the dust compartment. The robot vacuum is in high suction level.	Empty the dust compartment. Check for foreign objects and remove them if any. Lower the suction level of the robot vacuum to standard or silent mode.
The robot vacuum moves in a chaotic route.	Scattered objects on the floor affect the robot vacuum's operation. The robot vacuum slips on the slippery floor. The structured light obstacle avoidance module may be dirty.	Tidy up the floor before using the robot vacuum. It is recommended to manually clean the water on the floor. Wipe the structured light obstacle avoidance module of the robot vacuum with a soft, clean cloth to keep the module clean and unobstructed.
The robot vacuum misses some rooms.	The robot vacuum is obstructed by obstacles, such as closed doors or a threshold higher than 2 cm on its way during cleaning. The robot vacuum slips and malfunctions at the slippery room entrance.	Make sure all room doors are fully open. CAUTION: The robot vacuum cannot cross high threshold steps. It is recommended to manually clean the water on the floor.

Issues	Possible Cause	Solution
The robot vacuum often enters restricted areas or crosses virtual walls.	The map in the app has an error. The virtual walls or restricted area boundaries need to be optimized.	Check the map in the app. Delete the abnormal map from the map list and have a remap. Due to map scale, the set virtual walls or restricted areas may deviate from target locations. It is recommended to refer to the robot vacuum's running route, adjust the boundaries according to your home environment to include all the areas where the robot vacuum may get stuck easily, such as sunken steps and the areas underneath the furniture.
Scheduled cleanup does not work.	The robot vacuum runs low battery level.	The robot vacuum will only start scheduled cleanup when the remaining battery level is more than 30%. Charge the robot vacuum in time.
The robot vacuum suddenly interrupts the current task during operation.	The robot vacuum's battery is depleted. The omni station is not connected to power, so the robot vacuum is not successfully charged in the omni station.	Manually place the robot vacuum onto the omni station for charging. Make sure the omni station is connected to power properly. If the problem still persists, please contact the after-sales service team.
The robot vacuum does not resume cleanup after a midway charging.	The robot vacuum is in DND mode. The robot vacuum is manually recharged, such as being moved to the omni station, and controlled to return via the app or the button on itself.	The robot vacuum will not resume cleanup in DND mode or after manual recharging.
The omni station indicator blinks orange.	The water in the clean water tank is insufficient. The clean water tank or dirty water tank is not installed. The dirty water tank is full.	Fill the clean water tank with water in time. Install the clean water tank and the dirty water tank in place. Clean the dirty water tank.
The robot vacuum has a false water level voice prompt for the clean water tank.	The floater in the clean water tank is missing or stuck.	Manually reset the floater. If the problem persists, please contact the after-sales service team.

Troubleshooting

Issues	Possible Cause	Solution
The washboard base has a water level error.	The washboard base may be blocked. The dirty water tank is not installed in place. The dirty water tank's sealing ring is loose.	Clean the washboard and the washboard base. Reinstall the dirty water tank. Install the water tank's sealing ring in place. If the problem persists, please contact the after-sales service team.
The omni station cannot automatically empty dust.	The disposable bag is full. The auto-empty vents are blocked.	Replace the disposable bag with a new one. If the disposable bag is not full, check and clean all auto-empty vents.
It takes longer than usual to perform dust emptying.	After the omni station has been used for a while, the dust emptying process may take slightly longer to ensure its function runs smoothly. This is normal.	/

Environmental Notice

The built-in lithium-ion battery of this robot vacuum contains chemicals that may pollute the environment. Before disposal, ask a professional to remove the battery and then discard it at a professional recycling organization.

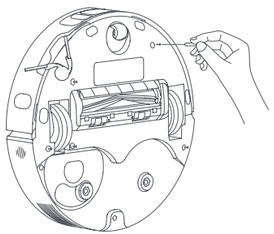
· The battery must be removed before the robot vacuum is disposed of.
· Disconnect the robot vacuum from power before removing the battery.
· The battery should be safely disposed of.

Battery Removal Steps

1. Turn the robot vacuum upside down, remove the five screws at the back of the robot vacuum with a tool, and remove the cover.
2. Unplug the connection terminal between the battery and the motherboard to remove the battery.

CAUTIONS:

· Before removing the battery, disconnect the robot vacuum from power and run the battery as flat as possible.
· Return the batteries to a professional recycling organization.
· Do not expose the battery to high temperatures as it may cause an explosion.
· If the battery leaks and people have accidental contact with it, immediately rinse with plenty of water and seek medical advice.



Specifications

Robot Vacuum

Name	Robotic Vacuum Cleaner
Model	OV31GL
Item Dimensions	350 × 88 mm (when the auto-height adjustable laser radar gets down)
Lithium-ion Battery	4800 mAh (rated capacity) 5200 mAh (nominal capacity)
Charging Time	6 hours
Net Weight	3.75 kg
Compatible with	Android 9.0 & iOS 12.0 or above
Wireless Connectivity	Wi-Fi IEEE 802.11 b/g/n/ax 2.4GHz, BLE5.2
Rated Voltage	14.4 V ⎓
Charging Voltage	20 V ⎓
Rated Power	55 W
Operation Frequency	2400–2483.5 MHz
Maximum Output Power	< 20 dBm

Under normal use of condition, this equipment should be kept a separation distance of at least 20 cm between the antenna and the body of the user.

For further information, please go to www.mi.com
Manufacturer: Xiaomi Communications Co., Ltd.
Address: #019, 9th Floor, Building 6, 33 Xi'erqi Middle Road, Haidian District, Beijing, 100085, China
Made in China

Omni Station

Model	OV31-JZUS
Item Dimensions	470 × 360 × 572 mm (including washboard base extender) 260 × 360 × 572 mm (excluding washboard base extender)
Rated Input	100 –120 V ∼50/60 Hz
Rated Output	20 V ⎓ 1.5 A
Rated Input Power (dust emptying)	350–510 W
Rated Input Power (hot water cleaning)	1000–1500 W
Rated Input Power (air-drying + charging)	78 W
Power Consumption	Standby mode: ≤ 0.5 W
Time to Enter the Condition	Standby mode: ≤ 20 min

Notes:
· The rated input power (hot water cleaning) is a typical value under the water temperature of 15 °C.
· The rated input power (air-drying + charging) is determined according to the full load power value.

WEEE Disposal and Recycling Information

All products bearing this symbol are waste electrical and electronic equipment (WEEE as in directive 2012/19/EU) which should not be mixed with unsorted household waste. Instead, you should protect human health and the environment by handing over your waste equipment to a designated collection point for the recycling of waste electrical and electronic equipment, appointed by the government or local authorities. Correct disposal and recycling will help prevent potential negative consequences to the environment and human health. Please contact the installer or local authorities for more information about the location as well as terms and conditions of such collection points.